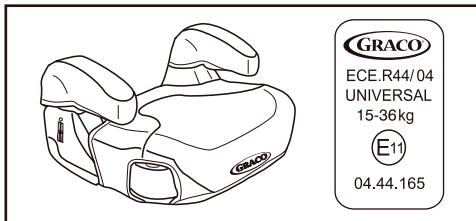
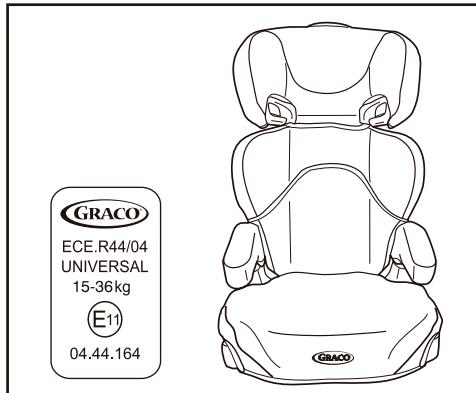


ジュニアシート 取扱い説明書



- ・ロジコ L シリーズ
- ・ジュニアプラス シリーズ
- ・ジュニアマキシ シリーズ
- ・コンパクトジュニア シリーズ
- ・ブースター シリーズ



このマニュアルをよくお読みください。

このマニュアルを読み、内容を理解するまでは、
シートの設置、使用しないでください。

誤った取扱いにより、急停車や衝突の際に
死亡および重症事故につながる恐れがあります。

目 次

ご使用の前に	3
ヨーロッパ安全基準	4
パーツリスト	5
本製品をお使いになるお客様へ	8
肘掛（アームレスト）の調整	9-10
背もたれ（バックサポート）の組立て方	11-15
体重制限	16-17
ブースターシートの取付け位置	18
お車のシートベルトについて	19-20
適切なシートベルトの種類	19
不適切なシートベルトの種類	20
ブースターシートご使用の際には	21-23
ブースターシートのリクライニング	24
お子様の座らせ方	25-28
頭部サポート（ヘッドサポート）の調節	29
背もたれなしでご使用の場合	30-35
備考	36
航空機内での使用	36
カップホルダー	36
取扱説明書の保管	37
お手入れとメンテナンス	38
シートカバーを取り外すには	39
シートカバーの洗濯について	40
保管のしかた	40
廃棄方法	40
保証とアフターサービスについて	41
注意	42
保証規定	42
保証書	43

ご使用の前に

ご使用の前に必ず本書をよくお読みください。

本書は、常にチャイルドシートと一緒に保管してください。
本体底部にマニュアルの保管場所がございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、本書の内容を十分に理解していただきますようお願いします。赤字で書かれた注意書きは特に重要な内容になりますので、必ず守ってください。

また、本書をお読みになる前に、このチャイルドシートを取り付けるお車の取扱説明書もご用意ください。本書に書かれた内容と共に参考にしなければならない場合もございます。

チャイルドシートは、突然の車の停止や交通事故などの場合にお子様の傷害を軽減することを目的としております。いかなるチャイルドシートも事故等からお子様を無傷で守るものではありません。

チャイルドシートのご利用にあたっての法規、安全基準等は各国によって異なります。詳しくは、行政機関もしくは、自動車メーカー等にお問い合わせください。

ヨーロッパ安全基準

安全基準について

European Safety Standards(欧州の安全基準)は、チャイルドシートの構造、性能に関する基準を明確にしていると共に、付属内容物、取付け・使用、取扱説明書、表示についても言及しています。

このチャイルドシートは

European Standard
ECE R44.04
汎用カテゴリー グループ2, 3 15-36kg

によって認可されています。

承認番号はシートの背面に貼付しております。この承認番号ははがさないでください。

本製品は、UN/ECE規則No.16または同等の基準で認可された3点／巻取装置付安全ベルトが装備されている車両にのみご使用ください。

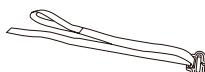
パーツリスト

本製品の組み立ては大人で行ってください。

基本パーツ

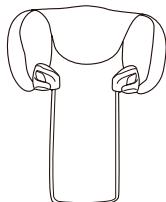


ベース

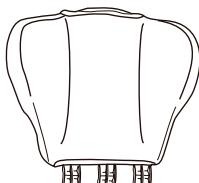


肩ベルト調節クリップ

背もたれ付モデル



頭部(ヘッド)サポート



背もたれ(バックサポート)

肘掛けカバー付モデル

※同梱されているモデル

ロジコレ、ロジコレラリースポーツ、
ジュニアマキシコンフォート、
ジュニアマキシプラス、
ジュニアプラス、
コンパクトジュニアDX
ジュニアプラスDX



肘掛けカバー

(モデルにより本体に装備されています。)

※ ジュニアプラスカラーズ、
ジュニアプラスエ・ラブ、
ジュニアマキシ、コンパクトジュニア、
その他のモデルには装備されていません。

本製品をお使いになるお客様へ

⚠ 警告

本製品の取扱説明書並びにお車の取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解するまでは、本製品の取付け、及び使用はなさらないようにお願い致します。

本製品を背もたれを取り付けて使用する場合、シートベルトの腰部分は肘掛けの下にあるベルトガイドに、斜めにかけるシートベルトは肩ベルトのガイドに沿って固定してください。また、背もたれのないブースターシートとして使用する場合、肩ベルト調整クリップを用いて固定してください。シートベルトにねじれなどがないことをお確かめください。

本製品をお車の座席に取付ける際には、可動式の座席やドアによって、緊急時に脱出できないような位置に取り付けることのないよう、細心の注意をはらってください。

誤った使用方法は、急旋回や急停車、衝突の際に、深刻な怪我または死亡事故につながる可能性を高めることになります。衝突事故に至らなかった場合でも、お子様が車内において怪我をすることがあります。正しく取付けられていない場合、またはお子様が正しく拘束されていない場合、急ブレーキや急旋回の際、お子様が怪我をすることがあります。

本製品に、他の製品のシートクッションやシートカバーを使用しないでください。

本書に書かれていない取扱い方は決してしないでください。

交通事故の統計によると、お子様は、助手席よりも、後部座席に正しく拘束されている方がより安全です。助手席にエアバッグが装備されている場合は、本製品を使用しないでください。

お子様を一人で車内に放置しないでください。

お子様を乗せていないときでも、ブースターシートをシートベルトで固定するかトランクなどに収納してください。そのままですると、急旋回、急停車、衝突の際に周囲に転がり、同乗者が怪我をする恐れがあります。取り外すか、車に固定されていることを確認してください。

荷物やその他の物を、車やトランクの中に固定しない状態で放置しないようにしてください。怪我を招く恐れがあります。

どんな事故であっても、一度でも事故にあった後はそのブースターシートを使用しないでください。ブースターシートに外見上の破損が見られない場合でも、思いもよらない損傷がある場合があります。

本製品を改造しないでください。また、他メーカーのアクセサリー・部品を取り付けるのもおやめください。

破損のある、もしくは部品が足りないブースターシートは使用しないでください。切断された、または損傷のあるシートベルトは使用しないでください。

本製品は、太陽光線に長時間さらされた場合、大変熱くなることがあります。熱せられた部品により、お子様が火傷を負う可能性もあります。ブースターシートにお子様を座らせる前に、金属・プラスチック部分の表面に触り、熱くないことを確認してください。

本製品を他の方に譲る場合は、必ず、本取扱説明書も一緒に渡してください。

中古のブースターシートは使わないでください。または使用履歴が不明なものも使用しないでください。

ブースターシートを、ベースに取り付けられている肘掛け無しでは使用しないでください。

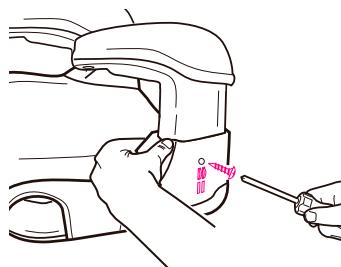
肘掛け(アームレスト)の調整

Step 1.

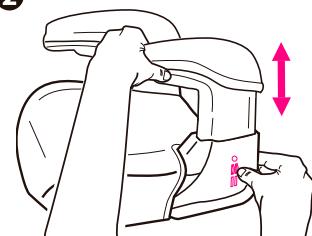
肘掛けの調節を行う際には、図のよう^ににネジを外し、ベー^ス側面にあるボタンを押し^て、肘掛けを上下に動かして^ください。① / ②

その後、またネジを締めな^おしてください。

①

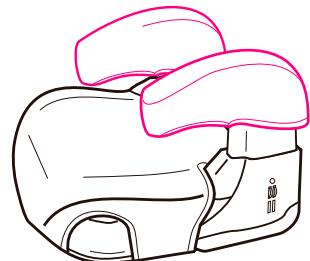


②



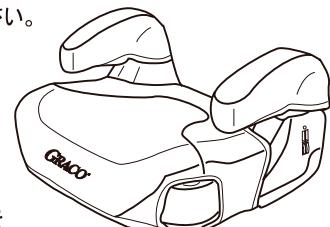
Step 2.

肘掛けカバーを図のよう^につけて^ください。



Step 3.

これで準備が整いました。
背もたれ(バックサポート)を
使用しない場合は、P.32
「肩ベルト位置調節クリップの
使い方」の項をご参照ください。

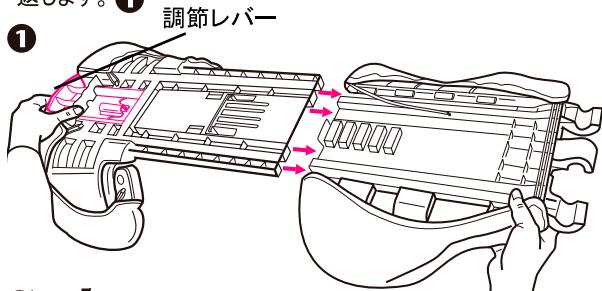


背もたれ(バックサポート)を
使用する場合は、このまま、
Step 4.に進んでください。

背もたれ(バックサポート)の組立て方

Step 4.

頭部サポートと背もたれサポートを図のように裏返します。①



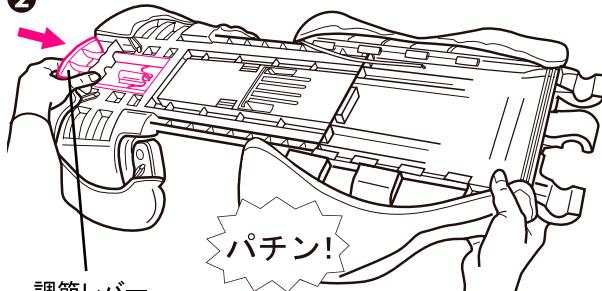
Step 5.

調節レバーを強く握り、頭部及び、
頭部及び背もたれサポートをパチンと音がするまで
スライドさせ、固定してください。②

頭部サポートと背もたれサポートをひっぱり、しっかり固定されて
いる事を確認してください。

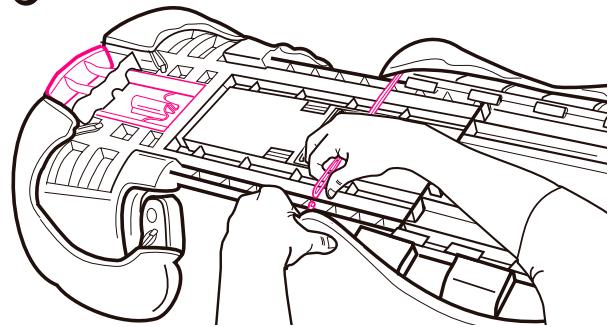
※頭部サポートは背もたれサポートにはめ込むと、外れない構
造になっています。

②



Step 6.

伸縮性のストラップを図 ③ のように取り付けて
ください。③

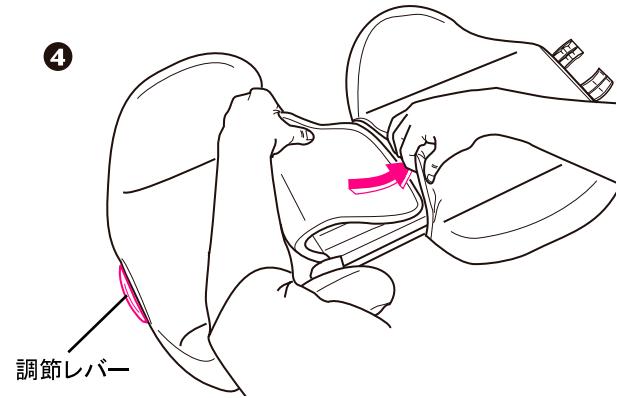


Step 7.

シートを表に向かって、図のように織布を頭部サポート
から下部の背もたれサポートの織布の下に挿入して
ください。④

調節レバーを握りながら、サポートを少しずつずらして
操作を行うと入れやすくなります。

④

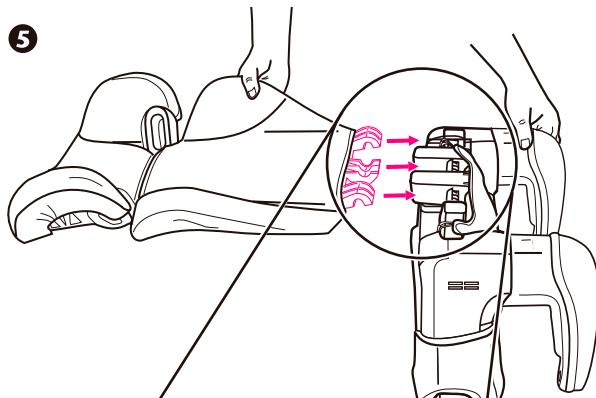


Step 8.

背もたれの部分をベースに取り付けてください。背もたれの下部にあるU字型のフックで、ベースの棒部分と連結します。⑤

背もたれをベースに取り付ける際、シートカバーが絡まないよう確認しながら行ってください。

⑤

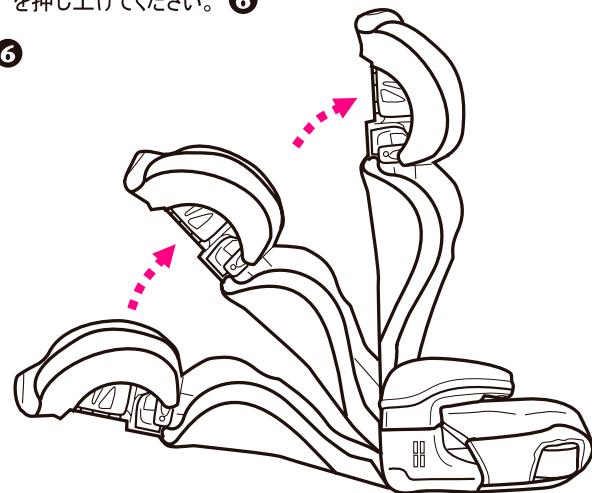


13

Step 9.

背もたれをベースにしっかりと取り付けた後、図のように背もたれを押し上げてください。⑥

⑥



14

Step 10.

準備が完了しました。

21-28ページの「ブースターシートご使用の際には」から
「お子様の座らせ方」を参照してください。



体重制限

⚠️ 警告

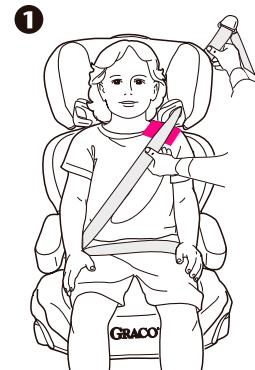
製品がお子様の体格・体重に適応する条件でご使用ください。適応条件外でのご使用は重傷や死亡に至る重大な事故を起こす恐れがあります。

本製品をお使いになる場合は、お子様が以下の全ての条件を満たしていなければなりません。

背もたれ使用の場合

体重 15kgから36kgまで

- ① 肩ベルトが、お子様の肩（図の赤い部分）にかかるようにする。また、腰ベルトは腰より低い位置にくるように、また耳はブースターシート背もたれの上端部より出ないことをご確認ください。もしお子様の耳がブースターシート背もたれの上端部よりも上になる場合は背もたれを取付けてのご使用はできません。

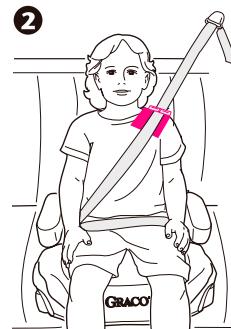


背もたれをお使いにならない場合

体重 15kgから36kgまで

- ② 肩ベルトが、お子様の肩(図の赤い部分)にかかるように、また、腰ベルトは腰より低い位置にくるようにし、ブースターシートに座った際に、お子様の耳が車のシート／ヘッドレストの上端部よりも出ないことをご確認ください。

上記の条件を満足していれば、
背もたれあり・なしどちらでも本製品はご使用になれます。



ブースターシートの取付け位置

⚠️警告

ブースターシートの不適切な取り付けは、重度の障害もしくは死亡事故につながる恐れがございます。座席位置によっては、ブースターシートが安全に機能をしない場合がございます。また、車種によっては、ブースターシートを安全に使用できる座席位置がないこともあります。もし、お車のどこにブースターシートを取り付けるべきか不明な場合は、お車の取扱説明書をご確認ください。

フロントエアバッグが装備された座席にこの製品を設置しないでください。ブースターシートは、可能な限り後部座席にお取付けください。

後部中央座席に肩、腰ベルトが備わっている場合は、この位置が取り付けに最も適した場所になりますが、

腰ベルトのみが備わっている

後部中央座席には
ご使用になれません。



必ず、進行方向に対して前向きに向いている座席に取り付けてください。



お車のシートベルトについて

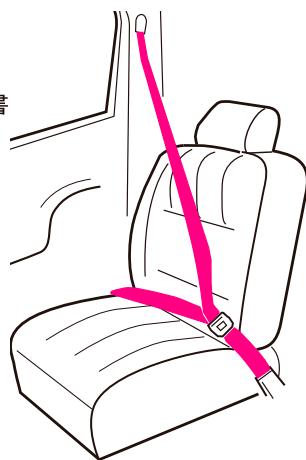
⚠ 警告

シートベルトの種類によっては、本ブースターシートとの使用が適切でないことがあります。

シートベルトの種類には十分にご注意ください。適切ではないシートベルトの中には、ブースターシートを使用するにあたり、もし不安に思うことがあれば、お車の取扱い説明書をご確認ください。

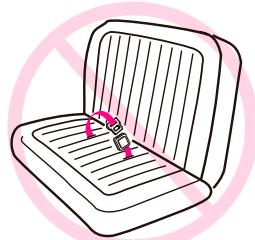
ご使用可能なシートベルトの種類

本ブースターシートには、腰／肩ベルト装置がご利用になります。ただし、座席位置が、ブースターシートの取扱説明書並びにお車の取扱説明書にある他の条件をすべて満たしている場合に限ります。

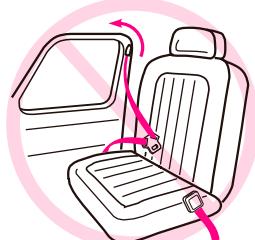


ご使用できないシートベルトの種類

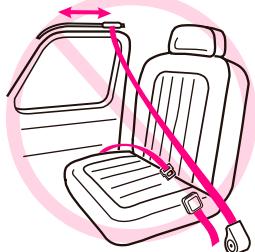
以下に挙げるシートベルトを装備しているお車には、使用しないでください。



腰ベルトのみ



ドアに取り付けられている非可動式の腰または肩ベルト



パッシブシートベルト(ドアを閉めると自動的に装着されるシートベルト)

ブースターシートご使用の際には

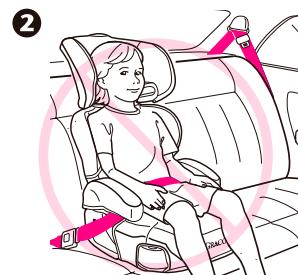
▲警告

お子様が正しく拘束されていない場合や、ブースターシートをお車に正しく取り付けていない場合、急旋回、急停車及び衝突の際に、深刻な怪我または死亡事故につながる恐れがあります。

- ① ブースターシートに座ったお子様を拘束する際には、必ずお車の腰・肩のベルトをお使いください。



- ② 腰ベルトのみを使用することはおやめください。

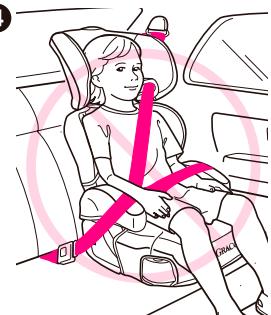


▲警告

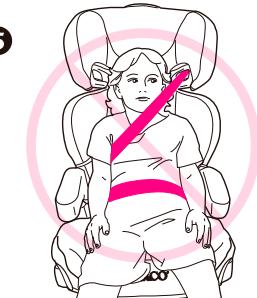
- ③ お車のベルトはお子様の体に対し平らになるようにかけてください。決してねじらないでください。肩ベルトが緩い状態や、肩ベルトがお子様の腕の下にあるような状態では使わないでください。



- ④ お車のベルトは肘掛の上ではなく、必ず肘掛の下を通してください。
お車のベルトにねじれがないことをお確かめください。
肩／腰のベルトのうち、腰にかかる部分は、お子様の腰より低く、楽な位置で、腿にベルトが触れる位になるように調節してください。



- ⑤ お子様がシートに浅く座らないようご注意ください。
もしベルトをお子様の体に合うように調節できない場合は、本製品はお使いにならないでください。他のチャイルドシートをお使いください。



⚠️ 警告

お車の座席のヘッドレストが、ブースターシートの頭部サポートにあたるなどの原因により、不安定になる場合は使用しないでください。またブースターシートがお車の座席よりはみだすような場合は、本製品使用しないでください⑥。

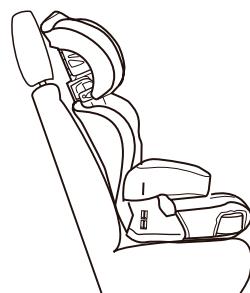
⑥



間違い

⑦ ブースターシートの背面が、図の通り、お車の座席に対して平行に接しており、不安定にならないようにしてください。

⑦



ブースターシートのリクライニング

本ブースターシートのリクライニングには、図の通り、2段階あります。

① 起こした状態

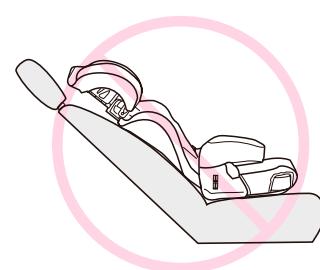


② 背もたれを倒した状態



③ ブースターシートの背もたれ背面は、図の通り、①・②の状態のどちらにおいてもお車の座席に対して平行に接していなければなりません。

* ブースターシートを、②の位置よりもさらに倒しては使わないでください。

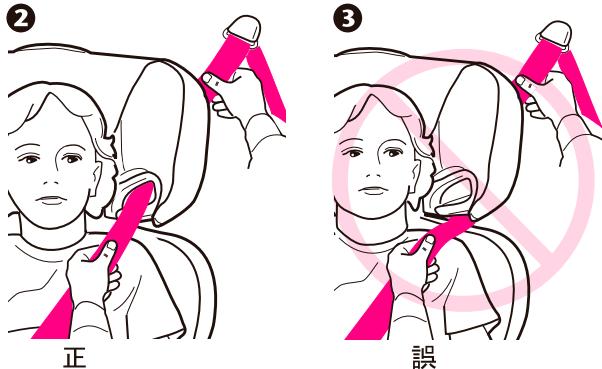


お子様の座らせ方

- ① ブースターシートを、進行方向前方を向いたお車の座席（腰・肩ベルトを装備したものに限る）にしっかりと取り付けます。
- お子様は、ブースターシートの背もたれに沿って背中をまっすぐに伸ばした状態で座らせてください。



- 図②のように、肩ベルトを肩ベルトの通し穴に通し(図③は誤った通し方です)、バックルを締め、肩ベルトを上に引っ張り、しっかりと締めます。



4. ④ 頭部サポートを適切な高さに調節するには、図のように、ヘッドレストの下部がお子様の肩の高さと同じであることが目安となります。



5. 肩ベルトは、図にある赤い部分にくるようにかけてください。

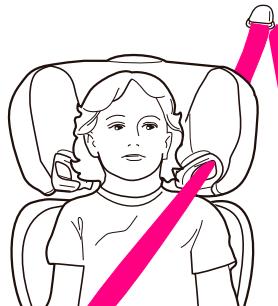
腰ベルトは肘掛の下を通して、腰より低い位置になるように調節してください。

ベルトにはねじれがないことをお確かめください。

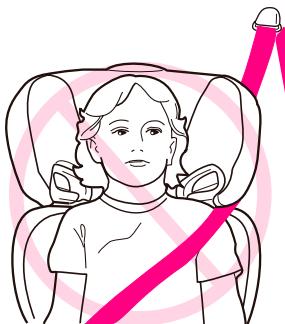
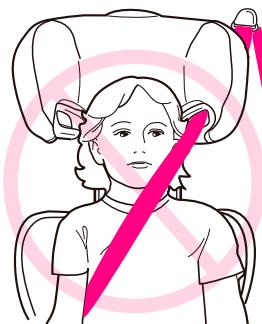


5. ⑥ もしベルトがお子様の首・頭または顔にかかるような場合は、頭部サポートの高さを再度調節してください。

この取扱説明書29ページの「頭部サポートの調節」を参照してください。



- 6.



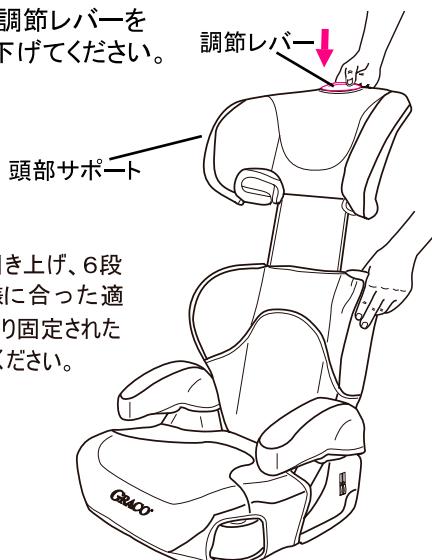
頭部サポート(ヘッドサポート)の調節

頭部サポートの高さを調節する前に、お子様に少し前傾姿勢を取りさせてください。

調節レバーを強く握り、頭部サポートを引き上げてください。
頭部サポートの高さは6段階から選ぶことができます。



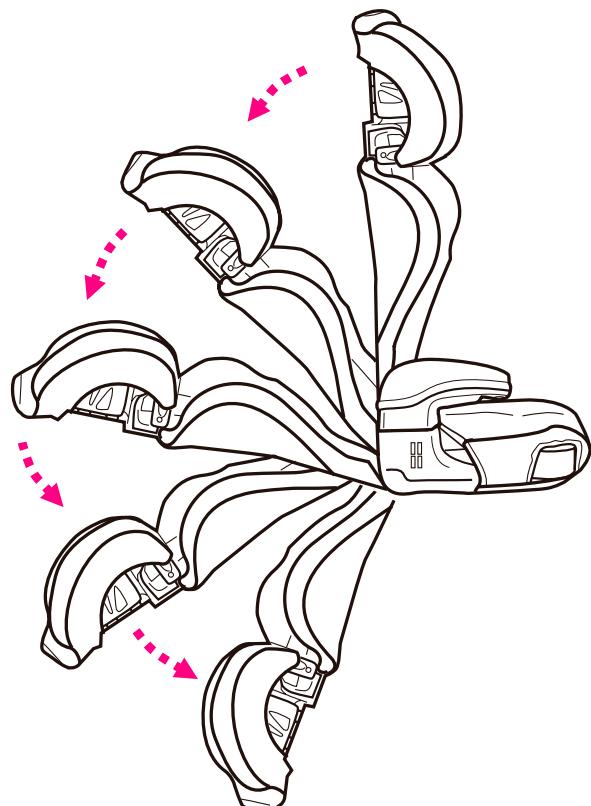
低くするには、調節レバーを強く握り、押し下げてください。



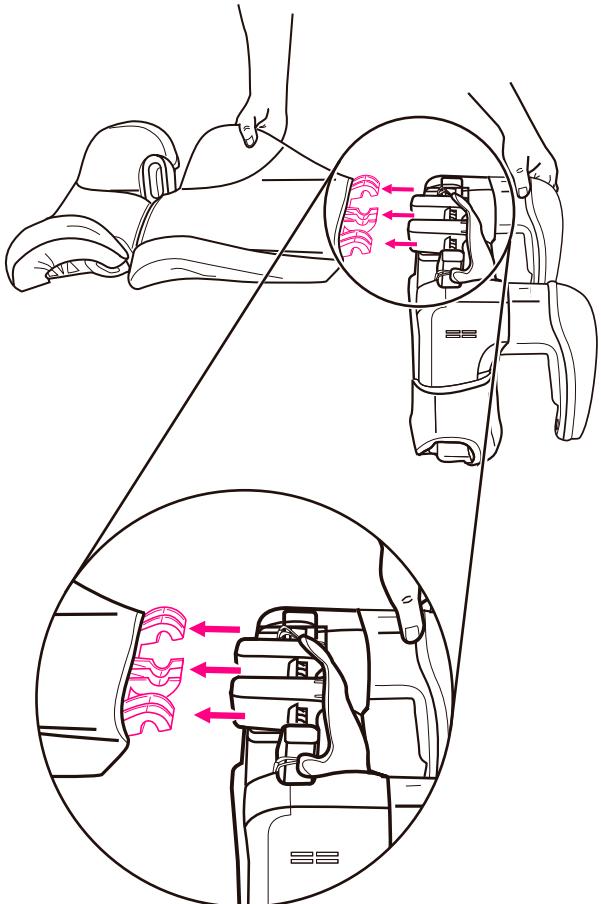
頭部サポートを引き上げ、6段階のうちのお子様に合った適切な高さでしっかりと固定されたかどうかお確かめください。

背もたれなしでご使用の場合 (背もたれの外し方)

① 図のように背もたれを矢印の方向へ押し下げます。



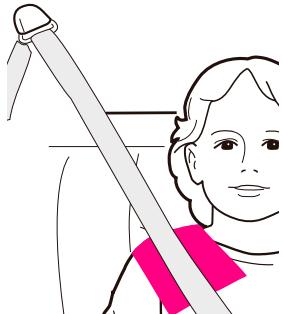
- ② 背もたれの下部にあるフックをベースから外し、背もたれを矢印の方向へ取り外してください。



背もたれなしでご使用の場合 (肩ベルト調節クリップの使い方)

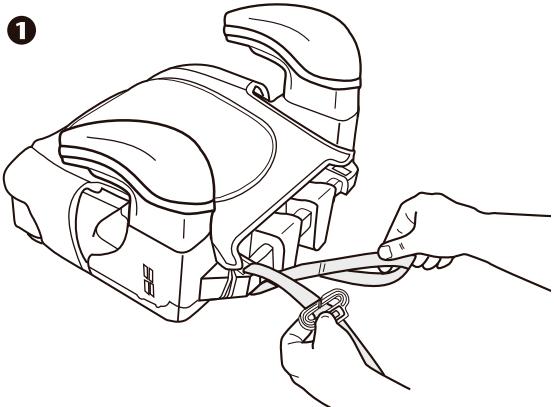
肩ベルトは、図に示してある赤い部分内でお子様の肩にかかるように締めてください。

もし肩ベルトが赤い部分から外れてしまう場合には、肩ベルト調節クリップをお使いください。



肩ベルト調節クリップをブースターシートに取り付けるには：

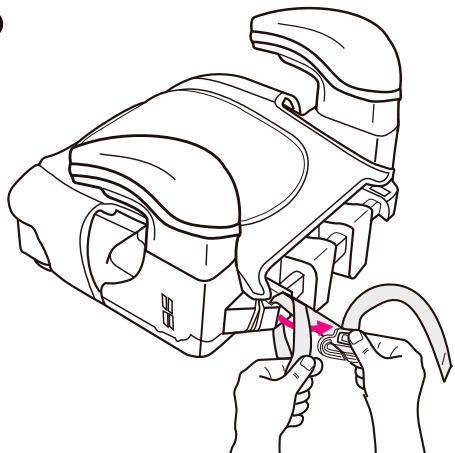
- ① 下の図にあるように、クリップに付いているストラップの輪のある先端からシートの後ろのバーに通してください。肩ベルト調節クリップは、お車のバックル側のバーに取り付けてください。



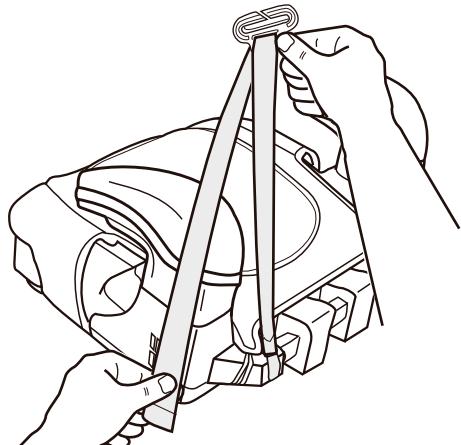
② ③ 図にあるように、クリップとストラップを輪の部分に通し
ストラップを上方へ引っ張ります。

注:ストラップの輪になっていないもう一方の先端は、シートの前方へ向けてください。

②

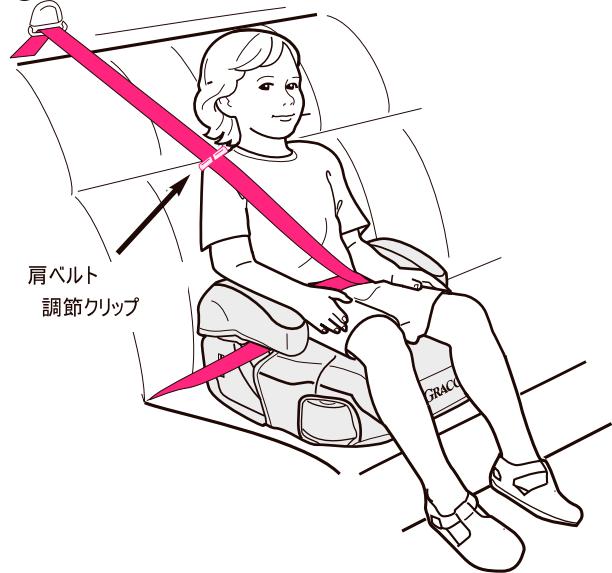


③



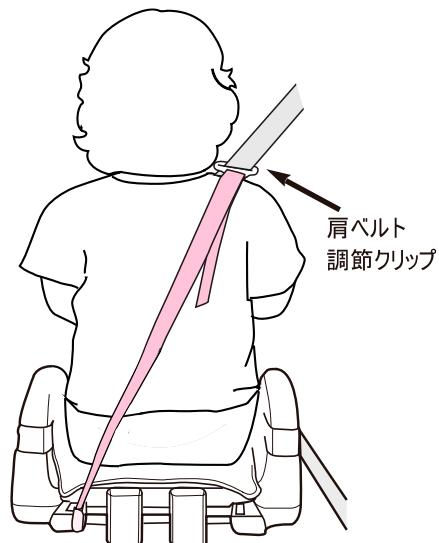
④ 図のように、お車の肩ベルトをクリップに通し、お子様の肩に対して、ストラップを下に引いてクリップを締めます。
腰ベルトは肘掛の下を通り、腰より低い位置に調節してください。
シートベルトがねじれていなことをお確かめください。

④



シートに座った子供を後ろから見た図

⑤



⑤ お車のベルトの位置に対する警告については、21-23ページの「ブースターシートご使用の際には」を参照してください。

備考

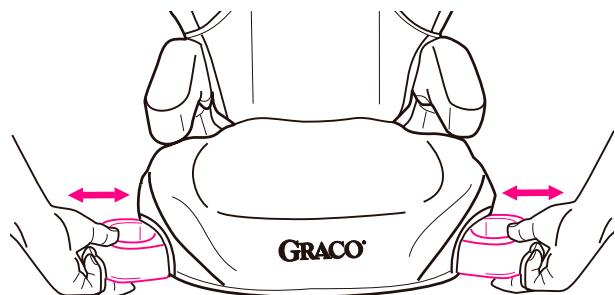
航空機内でのご使用

航空機内のご使用については、航空機には肩ベルトがないため、安全性は保証されません。

カップホルダー

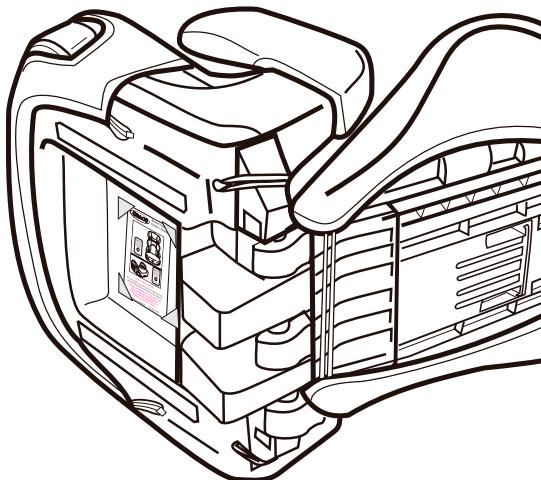
カップホルダーはシートの両側に収納することができます。

やけどを防ぐために、カップホルダー内に熱い飲物の容器は入れないでください。



取扱説明書の保管

図のように、取扱説明書はシートの底部に保管できます。



お手入れとメンテナンス

ブースターシートの長時間車に装着したままの継続的な使用は、お車の座席を傷める可能性があります。

金属・プラスチック部品について:

石鹼と冷水で洗って下さい。漂白剤や洗剤は使用しないでください。

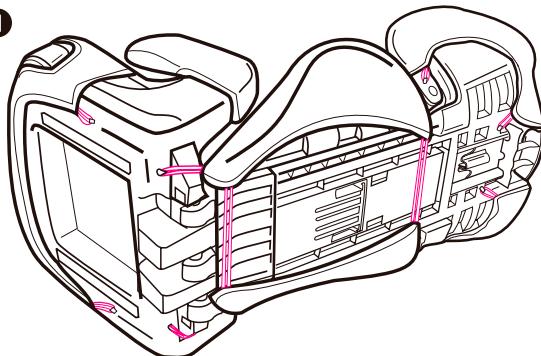
部品の傷み、布地の破れ、ほつれなどの異常がないか適時点検してください。もし、異常が見つかった場合には、ご自分で修理、改造はせずに、新しい物に買い換えてください。

ブースターシートを、カバーなしでは使用しないでください。

シートカバーを取り外すには

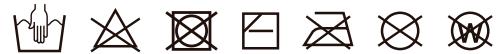
- ① 輪になった伸縮性のストラップ(図の赤い部分を)シートから取り外します。

①



シートカバーを取り付けるには、先程の手順の逆の順序で行ってください。

シートカバーの洗濯について



※ねじり又は絞り禁止

- ・30°C以下のぬるま湯でやさしく手洗いしてください。
- ・洗濯機は使用しないでください
- ・塩素系漂白剤は使用しないでください。
- ・洗濯後は絞らずに干してください。
- ・ドライクリーニングはしないでください
- ・陰干ししてください。
- ・アイロンかけをしないでください

保管のしかた

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
- ・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。(地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。)

保証とアフターサービスについて

・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音がったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・保証期間中（お買い上げ日より1年間です）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。

ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしませんが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1ヶ月です。）また製造中止後の製品については、修理必要な部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

アフターサービスについての連絡先

アッ普リカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

（製品をお送りいただく場合のみの宛先）

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364-5

アッ普リカ 奈良サービスセンター ☎(06) 4300-4949

⚠ 注意

1. 本製品は、汎用幼児拘束装置です。本製品は車両の汎用装置として規則No. 44.04改定シリーズで認可されており、一部を除き、ほとんどの車両のシートに適合します。

2. 車両メーカーの車両説明書に当該車両が、年齢グループ2・3向けの汎用幼児拘束装置を装着できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。

3. 本幼児拘束装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて汎用装置に分類されています。

4. 不明な点は、幼児拘束装置のメーカーもしくは販売店にご相談ください。認可された車両が、UN/ECE規則No.16または同等の基準で認可された3点式/巻取装置付安全ベルトを装備している場合のみに適しています。エアバックが装備された車両の座席には絶対に使用しないでください。

保証規定

1) 製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2) 保証期間中に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合は無償修理をいたします。

3) 保証期間中でも次の場合には有償になります。

a. 本書の提示のない場合

b. 本書にお買い上げ日、販売店の記載がない場合、または字句を書き換えられた場合

c. お客様の誤った使い方やお手入れ不良、または改造や不当な修理による故障や損傷

d. 製品の自然劣化（メッキ部の錆、塗装部の剥がれ、縫製品・樹脂部の紫外線劣化、変色など）

e. タイヤ、車輪の摩耗など、消耗品に関するもの

f. シートなど縫製品の色あせ、擦り切れ、傷や破れ、その他の破損

g. 災害や外部要因などによる故障や損傷

h. 修理に要する運賃などの諸経費

4) 製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。

5) 一度ご使用になった製品は、原則として他の製品にお取り替えできません。

6) 事故や落下などにより、強い衝撃を受けた製品の修理はできません。

7) 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan

8) 業務用、施設用など一般家庭以外で使用された場合は保証いたしかねます。

